

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2011年6月号 通巻30号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2011

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

東京タヌキの足跡を探す

なかなか見つからない、イヌにそっくりな足跡



[左]は形がよく残っている足跡。[右]はツメ跡しか残っていないが、4本ツメであること、その位置、大きさからタヌキの足跡であることがわかる。
[下]はハクビシンの足跡。5本指なのでタヌキやネコとは区別できる。



ハクビシン

動物の現場調査では足跡探しも重要です。動物そのものは見つからなくても、そう遠くない過去にそこに動物がいたという証拠になるからです。とはいえ、実際には足跡はなかなか見つからないものです。山林などでも土が露出して足跡が残る場所は多くありません。都会になると適度な固さの露出した土を探すことすら難しくなります。

土がある場所を定点観察

そんな都会でも土が露出している可能性が高い場所があります。例えば運動場などのグラウンドです。グラウンドの中央は土が固くなっているため足跡は残りにくいのですが、端の方は土が堆積していて適度に軟らかくなっています。これなら足跡が残る確率は高いので、定点観察を試みる価値はあります。足跡が残りやすいのは雨がやんだ後です。そんな日は特に注意してみてください。また、タヌキではなく他の動物の足跡も探してみましょう。

ただ、タヌキと小型犬の足跡はともによく似ていて区別は難しいです。そのため、散歩のイヌが簡単に入り込めるような場所のあやしい足跡はタヌキだと断定することは避けなければなりません。逆に、散歩のイヌがまず入り込まないような場所ならばタヌキと断定できるわけです。上の写真も散歩のイヌが入り込める場所ではなく、野良犬が目撃されることもないため、タヌキの足跡であることが確実なのです。

足跡は必ずしもきれいな状態で残るわけではありません。時間がたてば形は消えていきます。また、固めの地面だとツメ跡しか残らないこともあります。上の右写真がそういう状態です。これでは動物の正体の判別は難しいと思われるかもしれませんが、4本のツメ、その位置関係と大きさからタヌキであることは明らかです。足跡を探す時はこのような不完全なものもよく注意して観察しましょう。

タヌキの足跡はネコの足跡にも似ています。しかし、ネコは歩く時は

ツメを出しませんので、足跡にツメ跡は残りません。ネコというとツメが印象的かもしれませんが、足跡では違います。これは重要な判別ポイントですので覚えておきましょう。

デジカメで証拠を残せ！

足跡探しをするなら、デジカメを必ず持っていきましょう。証拠をきちんと残せば、その場では判別できなくても後から検証することができます。写真を撮る時は足跡の脇に定規を置いて大きさがわかるようにしましょう。定規の他にも硬貨や名刺など大きさがわかっているものでも代用できます。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>